

病院事業会計決算

**2億8444万円の
単年度純損失**

平成23年度は、総合病院と扇田病院の2病院を合わせた病院事業会計として、7年目を迎えました。

総合病院では、新たな施設基準の取得を目指した医療職員の配置や人工透析室の拡張と言語聴覚室の整備、扇田病院では病棟の浴室改修などを行い、病院機能の充実と医療サービスの向上に努めました。

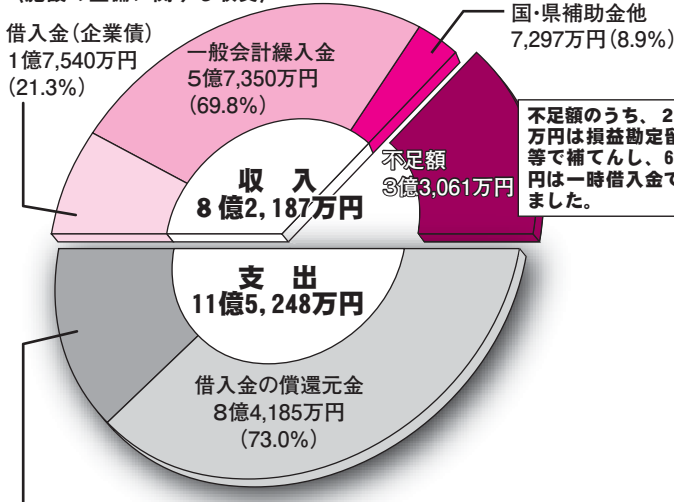
また、直近の医療動向に合わせて「病院改革プラン」を見直し、平成25年度までの新たな数値目標の設定を行うなど、病院管理者を中心に経営健全化に向けて取り組みました。

事業収益は、診療単価の伸びにより増加し、事業費用では、医療職員の増員に伴う給与費や医療の高度化に伴う材料費の増加によって、病院事業全体として2億8444万円の単年度純損失となりました。

この結果、23年度末時点の累積欠損金は、1億2661万円となりました。

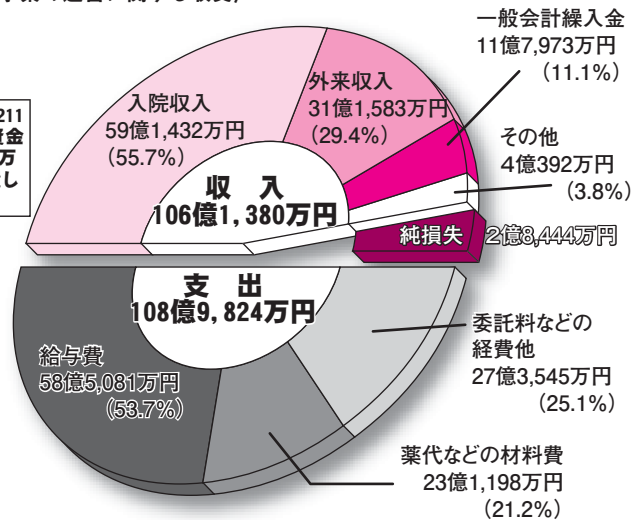
資本的収支(消費税込み)

(施設の整備に関する収支)



収益的収支(消費税抜き)

(事業の運営に関する収支)



施設の建設・改良に要する費用(医療機器整備・施設整備など)
3億1,063万円(27.0%)

平成23年度の業務実績

	総合病院	扇田病院
入院	入院患者数	140,399人
	1日平均患者数	384人
	診療単価	36,275円
外来	外来患者数	275,760人
	1日平均患者数	1,130人
	診療単価	10,073円
病床利用率	77.8%	90.1%

平成23年度の主な事業

〈施設設備整備事業〉

- 人工透析室の拡張整備(総合病院)
- 言語聴覚室の新設整備(総合病院)
- 浴室等の改修整備(扇田病院)

〈医療機器等整備事業〉

- 人工透析装置などの整備(総合病院)
- 消化管汎用ビデオスコープなどの整備(扇田病院)

〈地域医療再生計画医療機器整備事業〉

- 医療画像モニタ診断システムなどの整備(総合病院)

平成23年度 大館市病院事業貸借対照表

(平成24年3月31日現在)

